

ふたばこども園

園便り 4月号

遊びはまなび

令和8(2026)年4月8日発行

文責 園長 松島 正和



さくら

※園だより「遊びはまなび」はホームページでもご覧いただけます。

よろしくお願ひします

この度、納富博文園長のあとをうけて園長に就任いたしました松島正和と申します。県内小学校や、特別支援学校、県教委や佐賀市教委などの教育機関に合計36年あまり勤務した後、昨年度は副園長としてふたばの子どもたちと触れ合っていました。1年を過ごす中でふたばの「子ども中心保育」のよさを実感し、保護者の皆さまと職員が同じ方向を向いて今後もますますこの方針を発展させて行きたいと考えています。どうぞこれからも変わらずご支援ご協力いただきますようお願いいたします。



ご入園・ご進級おめでとうございます。

暖かさが増し、桜の花をはじめ、チューリップやツツジなどが一斉に咲きほこり春爛漫を迎えています。本日(8日)、令和8年度の始業式を行いました、また、入園式は11日(土)に行う予定です。今年度は全部で73名の新入園児を迎え、4月1日現在、園児数246名でのスタートとなりました。本園をお選びいただき誠にありがとうございます。そしてお子様のご入園、ご進級、おめでとうございます。

今、激動する社会情勢の中、これからの時代を生きる子どもたちの教育・保育の在り方についての議論が様々な場所で行われています。私自身、小学校の現場や教育行政を経験したものとして、現在の学校教育に関する課題と長年向き合ってきました。そして、それらを解決するひとつの方策として「遊びは学び」という乳幼児教育で培われた子どもたちの様々な「力」を、学校教育へとしっかりと引き継いでいく事が重要ではないかと考えるようになりました。このことについてはこれからの園だよりの中でもおいおいお伝えをしていきたいと思っておりますが、多様な価値観のもと、きわめて多くの選択肢にあふれた現代社会で「自分にとって何が大切か」「自分は今どのような行動をとるべきか」というような、「自分で選び、決断する」そして「その行動に責任を持つ」ことについては、多くの子ども同士がかかわる幼児期の遊びの中で経験することに大きな意味があると思っております。

ふたばこども園は、幼児教育の分野において国内でも有数の見識をお持ちの著名な先生方を多数お招きし、研修を行うことで「子ども主体(中心)の教育・保育」について研鑽を積んでまいりました。これからは子どもたちのために職員一丸となり取り組んで行きたいと思っております。保護者の皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

PTA「ふたばの会」へのご協力をお願いします

ふたばこども園のPTA組織「ふたばの会」は、保護者の皆様から毎月いただく会費をもとに、子どもたちのためのさまざまな活動を行っていただいております。今年度は、**そう組保護者 五十嵐様**を**会長**に執行部を構成していただきました。執行部の皆様、そして会員の皆様、子どもたちの笑顔のため、皆様のご協力とご尽力をよろしくお願いいたします。

お世話になりました

長年にわたりふたばこども園の運営及び発展に寄与していただいた、納富博文園長と村岡直子副園長ほか4名の先生方がこの3月31日をもってご退任されました。納富園長は就任されてから11年、村岡副園長は16年の長きにわたり二人三脚で園の改革を進められ、全国的にも高い評価を頂いている「ふたばの保育」を作り上げてこられた方々です。これからもお二人の足跡を追いながら、子どもたちのためによりよい保育のあり方を追求し、発展させることが残された我々の使命であると思っております。本当にお世話になりました。これからのふたばをどうぞ見守ってくださるようお願いいたします。



※似顔絵は令和7年度卒園生の作品です